NPO地球の緑を守る会/〒121-0072東京都足立区保塚町１－６/Tel:03-6783-4707Fax:03-6783-5595/ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞhttp://midori.mond.jp/

フォレストニュース

植林が地球を救う
令和4年(2022)6月10日
No. 174
発行　高津啓洋

春期セミナーを開催

5月28日、コロナ禍の中でありますが、春期セミナーが開催されました。南北米福地開発協会との共催で、国立オリンピック記念青少年センターで行われました。

高津啓洋理事長のプレゼンは、当会顧問をされた故・宮脇昭先生が壮絶な戦いともいうべき、新日鐵大分製鐵所の森づくりの動画を用い詳しく紹介され希望の一日となりました。また東日本大震災による津波に対しての、植樹による、防災、環境保全そして癒やしの森を絵図も加えながら説明しました。伊達勝見さんがレダに適した樹木が、インド原産のニームの樹だと見つけ出すのに苦労したエピソードを話していました。

植樹で希望と素晴らしい人生を

参加者の一人、野村さんは、4年前レダ植樹奉仕隊に参加し感銘を受け、造園業の仕事をするようになり、今回のセミナーで今の技術、学んでいる知識でレダで活躍したいと強く考えていると感想をのべていました。何度か国内の植樹活動に参加している佐藤さん、古屋さんも講師の話に、心に残るセミナーでしたと話していました。（溝垣記）

故・伊達勝見在パ事務局長の活躍に感謝

伊達勝見・地球の緑を守る会のパラグアイ事務局長（パラグアイ永住者）が5月5日に逝去いたしました。（享年72歳）伊達事務局長は、パラグアイで16年間植樹活動の先頭に立って、パンタナール地域の植樹を担当してきました。2月に新型コロナウイルスに感染し、闘病生活をしてきましたが、完治が難しく5月5日にご夫人・かほるさんと長男・徳国さんに看取られながら息を引きとられました。葬儀は、5月7日アスンシオンの教会にて執り行われました。（既報）

また、伊達さんは、仕事上でも多くのパラグアイ人に慕われる、温厚な人でした。仕事を通して、現地の人々と裏表なく接していたと、また、木を切るだけではなく将来の子供たちのためにも植樹の必要性を話して、森づくりに貢献してくれました。アルトパラグアイの州都オリンポ市だけでなく、周辺の村々にも立派な街路樹や森が人々の憩いの場となっていますと、感謝されています。

伊達さんの植えたパパイヤと長男・徳国さん。

立派に生育したニームの街路樹（カトルセマージョ村）

［お知らせ］今年のパラグアイの植樹ボランティアは募集人員に達したため応募を終了しました。